

群馬県立西邑楽高等学校 学校評価 一覧表 ① (平成28年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校を好きだと感じている生徒の割合が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な生徒理解、信頼関係づくりに努め個に応じた指導により学校生活をサポートする。</li> <li>・「羅針盤」の評価項目・具体的数値項目を全職員に周知し、自身の目標設定及び指導の指針とする。</li> <li>・生徒の進路希望に応じた必修科目及び選択科目を用意し、適切な科目選択を指導する。</li> <li>・部活動運動型の授業・専門科の少人数指導を効果的に実施する。</li> <li>・校長による授業観察、授業公開、ステップアップサポート事業による教員相互の授業観察・授業研究を通じて授業改善を図る。</li> <li>・毎朝実施の「朝の読書」、図書館オリエンテーション、LHR読書会や推薦図書リストの発行などを通して、読書への意欲を喚起する。</li> <li>・授業の予習復習を徹底させる。週末課題の状況を職員間で共有し組織的に指導に当たる。</li> <li>・英語検定に対する生徒の意識を高めるとともに、英語の基礎力だけでなく応用力も育成する。</li> <li>・学年会議の議事録を管理職に提出する。また職員会議等において、生徒に関する情報を共有する。</li> <li>・登校時指導や日常においてもあいさつを積極的に教職員から行っていく。</li> <li>・職員と生徒で共に考え、規律ある学校生活を送れるようにする。特に集会等や委員会での呼びかけを大切にする。</li> <li>・交通安全教室と年2回の自転車点検、交通安全だよりの発行等を通じて、生徒の交通安全意識の高揚を図る。</li> <li>・月に1回の保健だよりにより健康管理に関する情報を発信し、家庭と協力して取り組む。</li> <li>・職員間の情報提供や専門家によるカウンセリングを通して、組織的な相談体制を強化する。</li> <li>・アンケートを年2回実施し、組織的に情報を有することにより、いじめの早期発見と解消に取り組む。</li> <li>・部活動紹介や活動環境整備により、加入率の向上と充実した活動になるように努める。</li> <li>・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせるように指導していく。</li> <li>・生徒会行事の企画立案・準備段階において他者とともに作り上げていく意識がもてるように指導を工夫する。</li> </ul>	A	A	・今後も継続して、個に応じた指導に取り組む。	A	A	・面談等を通して、信頼関係の確保に努め、生徒が充実した学校生活を送れるよう支援する。
		②各職員が「本年度の重点目標」、「羅針盤」を指針として自己目標を設定し、教育活動の改善に努めている。		B	—	・自己申告(中間申告)を実施し上半期の取組を検証し、各職員が教育活動の改善を図る。	B	—	・自己申告(最終申告)と面接を実施し、目標の実現度を検証して成果と課題を明確化し、次年度以降の目標設定に活かす。
		③習熟度別授業(数学・英語)に満足している生徒が85%以上である。		A	A	・授業内容、進め方を各教科でさらに工夫し、充実を図る。	A	A	・習熟度別授業の効果的運用をさらに工夫していく。
		④専門教科の授業に満足している生徒が85%以上である。		A	A	・部活動運動型の授業・専門科の少人数指導をさらに工夫し、充実を図る。	A	A	・授業の特性を生かし、さらに工夫をしていく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤双方向の授業への取組を進め、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長による授業観察、授業公開、ステップアップサポート事業による教員相互の授業観察・授業研究を通じて授業改善を図る。</li> <li>・毎朝実施の「朝の読書」、図書館オリエンテーション、LHR読書会や推薦図書リストの発行などを通して、読書への意欲を喚起する。</li> <li>・授業の予習復習を徹底させる。週末課題の状況を職員間で共有し組織的に指導に当たる。</li> <li>・英語検定に対する生徒の意識を高めるとともに、英語の基礎力だけでなく応用力も育成する。</li> <li>・学年会議の議事録を管理職に提出する。また職員会議等において、生徒に関する情報を共有する。</li> <li>・登校時指導や日常においてもあいさつを積極的に教職員から行っていく。</li> <li>・職員と生徒で共に考え、規律ある学校生活を送れるようにする。特に集会等や委員会での呼びかけを大切にする。</li> <li>・交通安全教室と年2回の自転車点検、交通安全だよりの発行等を通じて、生徒の交通安全意識の高揚を図る。</li> <li>・月に1回の保健だよりにより健康管理に関する情報を発信し、家庭と協力して取り組む。</li> <li>・職員間の情報提供や専門家によるカウンセリングを通して、組織的な相談体制を強化する。</li> <li>・アンケートを年2回実施し、組織的に情報を有することにより、いじめの早期発見と解消に取り組む。</li> <li>・部活動紹介や活動環境整備により、加入率の向上と充実した活動になるように努める。</li> <li>・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせるように指導していく。</li> <li>・生徒会行事の企画立案・準備段階において他者とともに作り上げていく意識がもてるように指導を工夫する。</li> </ul>	B	B	・研究授業や職員研修等を通して、生徒がより一層達成感を得られるような授業を目指し、工夫をする。	B	B	・ステップアップサポート事業を推進し、生徒が積極的に発言・発表できる授業を目指す。
		⑥「朝の読書」を含め、生徒が1年間に12冊以上の本を読んでいる。		B	A	・生徒アンケートで昨年度より月1冊以上本を読む生徒が増加している。さらに情報発信し、割合を増やすよう努力する。	A	A	・生徒のアンケートから月1冊以上本を読む生徒が過半数を超えている状態になった。今後も読書習慣の確立と質の向上に努めていく。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦生徒の家庭での1日の平均学習時間は、1,2年生で80分以上である。		A	B	・家庭学習量を増やすために、さらなる工夫をしていく。	A	B	・家庭学習の習慣化のため、計画的・継続的に指導し、取り組む姿勢を醸成していく。
		⑧実用英語技能検定の合格者が、2級5名、準2級30名以上である。		C	C	・英語の授業をとおして、英検受験の意識を高める工夫をしていく。	C	C	・英検の資格取得に積極的に取り組むようにさらに指導していく。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨学年会議等において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会議の議事録を管理職に提出する。また職員会議等において、生徒に関する情報を共有する。</li> <li>・登校時指導や日常においてもあいさつを積極的に教職員から行っていく。</li> <li>・職員と生徒で共に考え、規律ある学校生活を送れるようにする。特に集会等や委員会での呼びかけを大切にする。</li> <li>・交通安全教室と年2回の自転車点検、交通安全だよりの発行等を通じて、生徒の交通安全意識の高揚を図る。</li> <li>・月に1回の保健だよりにより健康管理に関する情報を発信し、家庭と協力して取り組む。</li> <li>・職員間の情報提供や専門家によるカウンセリングを通して、組織的な相談体制を強化する。</li> <li>・アンケートを年2回実施し、組織的に情報を有することにより、いじめの早期発見と解消に取り組む。</li> <li>・部活動紹介や活動環境整備により、加入率の向上と充実した活動になるように努める。</li> <li>・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせるように指導していく。</li> <li>・生徒会行事の企画立案・準備段階において他者とともに作り上げていく意識がもてるように指導を工夫する。</li> </ul>	A	—	・学年との連携・情報交換もうまくいっており、今後も継続する。	A	—	・学年との連携・情報交換もうまくいっており、今後も継続する。
		⑩登校時指導等を通じて、あいさつ・服装・遅刻防止に関する指導を進め、生徒のあいさつができていくという評価が70%以上(教職員アンケートによる)である。		A	A	・明るく挨拶してくれる生徒がほとんどであり、今後も先生方が積極的に生徒に関わっていくことが大切である。	A	A	・しっかり挨拶することが定着しつつある。明るくにこやかに挨拶することを次の目標とする。
		⑪服装頭髪指導の係指導の対象となる生徒が10名以下、遅刻指導該当者が年間15名以下である。		B	B	・服装頭髪指導の係指導対象者は1名であった。 ・生徒指導上の問題は現在までないが、服装に関する指導の工夫をしたい。	B	B	・服装頭髪指導の係指導対象者は2名であった。 ・女子のスカートに関する指導の工夫が必要である。
		⑫自転車点検や事故防止啓発活動を通じて、過失事故や重大事故を0にする。		A	B	・大怪我につながるような事故は起きていない。交通安全教室等を通じて安全に関する意識を高めたい。	B	B	・重大事故は起きていない。しかし、自分の身を守る意識は低い。さまざまな取組によって、自分の身近に危険があることを認識させる。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬生徒の健康診断に基づく受診率が50%以上である。		B	A	・保護者への受診勧告通知に工夫を加え有効利用の工夫をする。	B	A	・生徒及び保護者への受診勧告を引き続き行っていく。
		⑭不登校の生徒0を目指す。		B	A	・スクールカウンセラーと職員との情報交換を密にし、有効な教育相談を行う。	B	A	・SCと職員及び保護者との情報交換を密にし有効な教育相談を行う。
6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑮いじめの未然防止に努め、いじめ問題解決率100%を目指す。	B	A	・スクールカウンセラーと職員および保護者との情報交換を密にし、有効な教育相談が行えるようにする。	B	A	・SCと教職員及び保護者との情報交換を密にし有効な教育相談が行えるようにする。		
		B	B	・部活動加入率70%と多くの生徒が加入している。各部が充実した活動になるよう、環境整備を推進する。	B	B	・生活の指導を含め各部が充実した活動になるように取り組む。		
	⑰LHRでのいじめ防止活動に主体的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	B	B	・LHRを通し日常生活の中にある身近ないじめ問題を認識させるように指導していく。	B	B	・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせる。		
	⑱生徒会行事を作り上げる過程で、仲間意識をもつことや他を認めることの大切さを認識している生徒が70%以上である。	B	A	・やさしい心と思いやりのある指導をする。 ・協力体制のある教育活動を実践する。	A	A	・講話を聞く機会やボランティア活動に取り組む機会を増やしていきたい。		

IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑱進路関係の行事や学習が役立っていると思う生徒が80%以上である。	・学年に応じた進路プログラムによる進路学習や行事を推進し、生徒が自らの目標を適切に設定できるようにする。	B	A	・各進路行事は成果をあげている。 ・生徒の受験に対する意識改革を行うとともに3年間を通した指導計画を体系的に作り直す。	A	A	・アンケートの結果、生徒・保護者とも目標の数値を上回ることができた。今後もさらに進路行事が充実できるようにしていきたい。
		⑳文化祭や送別会等の生徒会行事に満足している生徒が85%以上である。	・準備段階から生徒会役員等とともに企画立案をし、生徒が主役となるような行事運営を進めていく。	A	A	・生徒会役員が中心となり主体的な活動が推進されている。	A	A	・生徒同士で協力して生徒会行事がさらに立派に実践されていけるようにする。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	㉑将来の職業や卒業後の進路について考え、進路実現のための課題を意識できた生徒が80%以上である。	・二者面談、三者面談を通じて、生徒一人ひとりの進路希望を把握するとともに、進路実現のための適切な情報提供を行う。	B	A	・面接指導の実施と適切な情報提供を行っている。 ・経験差を解消できる進路情報を充実させ提供していく。	A	A	・年間行事計画で予定されていた面接だけでなく、LHRや放課後等を利用してこまめに面接を実施することができ、生徒の満足度が85%を越えた。
		㉒進路別講演会・大学見学・大学模擬授業などの進路行事に積極的に取り組んだ生徒が70%以上である。	・進路指導部と各学年とが連携をし、生徒の実態に即した指導をしていく。	B	A	・今後更に指導に改善を加えよりよいものにしていく。	A	A	・生徒の評価は目標値を大きく上回ったが、保護者の評価がやや低かった。今後保護者に向け、情報伝達を工夫していきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉓PTA総会に参加している保護者が50%以上、専門学科ガイダンスに参加している保護者が80%以上である。	・PTA総会等の保護者あて通知が必ず保護者に届くよう生徒を指導するとともに、ホームページを活用し広報活動を徹底する。	B	A	・PTA総会の出席率は42%にとどまった。今後も担任等の指導を通して、保護者あて通知等が必ず家庭に届くよう努力していく。	B	B	・PTA総会以外の行事にも気軽に保護者が参加できるよう、広報活動等に努める。
		㉔オープンスクールで「学校の様子がわかった」と答えた参加者が80%以上である。	・学校行事を中心に校内の情報を広く発信し、教育活動が理解しやすいように努める。	A	A	・部活動の活動状況を中心に校内の情報を発信している。今後も、最新情報への更新を継続して行う。	A	A	・部活動や学校行事等の情報を行事等開催すぐに最新情報に更新することができた。今後も継続していく。
		㉕学校のwebページを月2回以上更新している。	・各分掌・組織と連携して、情報収集、適時に掲載していく。	A	A	・部活動・学校からの連絡等の情報発信を今後もこまめにしていく。	A	A	・教員間で情報公開の意識を高める。